

# 雪メグ、創業100周年「ミルクフェス」開催

## こどもの国牧場に新ミルクプラントを寄贈



新ミルクプラント

雪印メグミルクは17日、こどもの国(神奈川県・横浜市)で創業100周年を記念した「ミルクフェス」を開催した。こどもの国を主催している例年6月に開催している「牛乳まつり」を今回は創業100周年を記念してパワーアップし、6つのゾーンに分かれて実施。おいしいミルクゾーンでは、佐藤雅俊社長が来場者に「雪印メグミルク北海道牛乳」のサンプリングを行った。また、キッチンカーでは「雪印北海道100さけるチーズ」を使用した「さけるチーズ」を販売。ミルクを学ぼうゾーンでは「サステナビリテイイクイズ」および100周年記念展示が行われた。さらに牧場内ステージでは「クッキーズミニコンサート」が行われたほか、雪印メグミルク

スキー部メンバーによる「一緒にカラダを動かそう!」と題したイベントも行われ、盛り上がりを見せた。また、当日は「新ミルクプラント寄贈式」も行われ、佐藤雅俊社長(写真左上・左)は「当社グループは今日、創業100周年を迎えることができた。こどもの国も5月5日に開園60周年を迎えた。こどもの国は現上皇ご夫妻の結婚を記念し、子どものために使ってほしいという思いで建設された施設であり、こどもの国牧場は前身の雪印乳業が建設、国に寄贈し、現在は雪印こどもの国牧場が運営している。ミルクプ



ミルクフェス牛乳サンプリング

ラントは、搾乳した牛乳を商品化するまで一貫して見学できる施設となり、60周年近く経過したプラントを昨年9月にリニューアルし、今年5月5日のこどもの日にグラインドオープンした。酪農から食まで学べる新たな拠点となる。取り組むべき課題は「食の持続性の



雪印メグミルクスキー部

実現」であり、乳の魅力を伝え、食の未来を育むべく一層努めていく」とあいさつした。こどもの国協会の秋保尚志常務理事兼園長(同左上・中央)は「こどもの国牧場は、都会の子どもが牛を見て、牛乳やソフトクリームが食べられる生き物と触れ合える人気の施設。昨年実施した来園アンケートの6割が動物への触れ合いを目的としている。新プラントは牛乳のパック詰めの見学や、飲食スペースなども広がり魅力が増した。今後も手を携えて100周年を目指して発展していきたい」と感謝の意を述べた。式典後、佐藤社長は100周年の節目について「当社はこのほど未来ビジョン2050を掲げた。先が予測できない世の中で『予測するのではなく、自分たちがこうありたい社会を考えよう』『2050年どんな会社にしたか』を真剣に考え、ステークホルダーの意見も合わせ出来上がったのが未来ビジョンとなる。食の持続性の実現という課題達成に向けてしっかりと行動していくことが次の100年に向けた思いだ」と語った。(M)



牧場の朝バルーン

あらわぎ  
新技とは  
挑戦すること  
技を磨けば、またひとつ、うまくなる。

フ知マカ連華  
大迫勇也

特許「磨き蒸留」芋焼酎  
あらわぎ  
新技  
桜島

世界を酔わせた芋焼酎

IWSC 2023 金賞 SFWSC 2023 金賞

飲酒は20歳を過ぎてから。飲酒運転は絶対にやめましょう。妊娠中や授乳期の飲酒はお控えください。お酒は楽しく適量を。本坊酒造株式会社